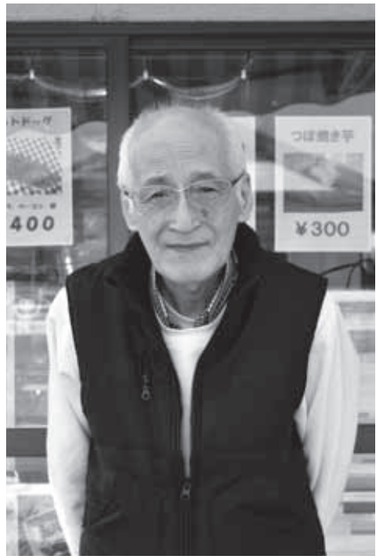
きらり人輝く

埼玉県から30年越しに久慈市へ移住し
歴通路通りに飲食店を新たにオープン

皆さんに楽しんでもらいたい



Name
宗川 博芳 さん
むねかわ・ひろよし（長内町・74歳）

Profile
・食彩幻　代表
営業時間…10時～15時
住所…十八日町二丁目８－２（歴通路通り）
定休日…月曜日
☎080-3723-2653

埼玉県から I ターンし、歴通路通りに軽食を販売する「食彩幻」をオープンさせた宗川博芳さん。移住前の生活や出店のきっかけ、久慈の印象などを聞きました。

■埼玉県から久慈へ移住

久慈に移住したのは１年半ほど前。それまでは埼玉県で従業員200人ほどの会社を経営していました。65歳ごろに後輩へ仕事を譲り、ライブハウスを運営。仕事にけりが付いたので、パートナーの地元の久慈に移住しました。仕事をしているときも、１年に一度は久慈に訪れていましたし、30年ほど前に、家も建てていました。趣味はサックスの演奏や作曲。自分の作曲した歌が２曲ほど、カラオケに入っています。

■久慈の印象

海も山もあって、気候もいいので暮らしやすいところだと思います。都会と違って、皆さんあいさつもしてくれますし、悪い人はいない気がします。その一方で、コロナの影響もあり、人通りが少ないので、パソコンやインターネットが苦手な年代には、商売するのは難しいところだなという印象もあります。

■出店のきっかけ

ずっと仕事をしてきたので、久慈で暇を感じていると、偶然空き店舗のチラシを見ました。飲食店の店舗も経営していたので、とりあえず何か始めようと思い出店。焼き芋やお好み焼き、ホットドックなどテイクアウトできるものを販売しています。

■久慈の皆さんへ

もうけようというよりは、皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。知り合いも増やしたいので、街に出かけた際には、少し寄ってもらえたらうれしいです。

集まれ！元気の輪

久慈バウンドテニス協会

代　　表：税田　茂代 さん
活動場所：市民体育館　☎61-3353
活 動 日：土曜日18時～20時

相手のサーブを鋭いリターンで返すメンバー

ダブルスは卓球のように交互に打つルール

バウンドテニスとは、テニスコートの約１／６のサイズのコートで、テニスとほぼ同様のルールで行われるスポーツ。使用するラケットは、通常のテニスラケットを縮小した形状で、ボールもソフトテニスボールより小さく硬めです。

「いつでも」「どこでも」「だれもが」「いつまでも」できる生涯スポーツで、２人いれば試合が可能。コートは小さいけれど、結構動くので運動不足解消にはもってこい。会員は随時募集中です。初心者でも気軽に始められるので、一度見学してみませんか。

My life in Kuji

ムハンマド・リズキ・アブマー
メルボルン・27歳　／久慈湊小、小久慈小、大川目小、夏井小、平山小、久慈中、夏井中を担当

Blooming Cherry Blossoms

皆さんはオーストラリアにも桜の木があるのを知っていますか？　実は、メルボルンから車で１時間ほどの場所で桜を見ることができるんです！

ダンデノン・レンジス植物園は、桜を見ることができる場所の一つです。この植物園には、さまざまな樹木や植物があり、訪れる季節ごとに違った景色を味わうことができます。

私の母にとって桜は、毎年開花を楽しみにしている特別なものです。残念ながら桜が全く咲かない年もあれば、咲いたとしても、あっという間に散ってしまう年もあります。日本行きが決まったとき「日本に行ったら桜の写真をたくさん取ってあげる」と母に約束しました。これまで母が桜の開花を見られなかった時間を埋め合わせできるように、できるだけ多くの桜の写真を母に送りたいと思っています。

桜の名所や、市内で桜がきれいに咲いているところをご存知でしたら、ぜひ教えてください！　久慈で迎える初めての春を、心から楽しみにしています。

市内の小・中学校で英語を教えているALT（外国語指導助手）の皆さんが、久慈で生活していて感じたことなどを紹介するコーナーです

市民センターだより

長内市民センター
☎52-7400

「着物リメイク教室」

～思いがけない体験～

感染症対策を取りながら実施した事業の中から、住民が企画を持ち込んだ事業を紹介します。

たんすに眠っている着物を再利用する「着物リメイク教室」。８人が参加し、９月末から全３回でおしゃれな作品を完成させました。講師は岩手県環境アドバイザー、雫石町在住の小赤沢直子さん。「売り物じゃなく、自分で着るものだから自由よ」と型紙なしで裁断、しつけなしで縫っていきます。「既存の裁縫の概念を捨ててください」との自由な発想に刺激をもらいながら、楽しい時間を過ごしました。

今回の講座では、10月24日に盛岡市のアイーナで開催された、先生が指導した県内の着物リメイク教室参加者が集まるファッションショーに、自分の作品を着て参加するという思いがけない体験もつきました。

自主サークルとして活動も始まり、来年度も県内の方々と交流する予定です。今後も住民の皆さんの企画持ち込みやご要望などをお待ちしています。

協力隊つうしん

田端　涼輔 さん
（たばた　りょうすけ・26歳）
2018年着任。三重県津市出身。令和元年７月に、山根町に「やまねこカフェ」をオープンしました。

卒業後も久慈でカフェ＆キッチンカーを営業

キッチンカーでコーヒーを販売する田端さん

久慈市地域おこし協力隊の田端です。早いもので、私が久慈に来てから３年が経とうとしています。久慈の皆さんには１年目からたくさんの出会いがあり、楽しい思い出がたくさんです。

結論から先に言うと、私は卒業後も久慈に残りカフェ＆キッチンカーを利用し、生活していきます！　いろいろなことを言われたこともありましたが、本気でコーヒー屋をやっていく覚悟あれば実現できるんだなと、改めてチャレンジすることの大切さを実感しました。協力隊としてどのくらい山根や久慈に貢献できたかは、自分では分かりません。皆さんの判断だと思います。私の活動で、山根に足を運んでくださったり、少しでも元気や勇気をもらった人がいれば、私がここに来た意味があったのかもしれません。

卒業発表は延期となり４月に行います。そこで私が久慈に来て感じたことやこれからの話もしますので、ぜひお越しください！

●**地域おこし協力隊**…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。カフェを中心とした地域の活性化、新規漁業者の確保や水産物の高付加価値化への取り組み、農泊事業の実践と推進、地域資源の商品開発・販路拡大ＰＲなどを行います。